

商品仕様書

GR型受信機
RX300

品番：NBS521AEA□□
NBS521BEA□□

日本ドライケミカル株式会社

■ 1. 概要

■ 商品説明

R 型防災システム

G R 型受信機

R X 3 0 0

■ 機能概要

小型 R 型防災システム“R X 3 0 0”は、A I 判断機能を搭載した感知器により、非火災報の大幅低減化を図りました。表示する文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、同じ伝送線上に感知器、中継器を混在して接続することが可能です。

また、受信機にテーブルをダウンロードする前に、パソコンを利用して作成したテーブルデータと実端末を比較することができますため、施工の効率化が図れます。施工中のトラブル情報や、受信機の履歴情報をパソコン上で確認することができます。

■ 2. 諸機能(1)

● A I 判断機能

煙濃度変化を分析して、火災報と判断した場合は蓄積時間を短縮し、非火災報と判断した場合には蓄積時間を長めにして、火災の早期発見や非火災報の低減を図ります。

● 自動試験機能

6 ヶ月ごとの機器点検、1 年ごとの総合点検の一部を自動またはワンタッチで行うことができ、試験・点検作業の大幅な省力化が図れます。

故障発生を常時監視しているため、機器のトラブルの早期発見が可能です。又、人手より精度の高い点検ができ、システム維持レベルが向上できます。

● 履歴データのエクスポート機能

受信機に蓄積された履歴情報をパソコンで閲覧することができます。

また、取り出した履歴データは P D F 形式、または C S V 系形式で保存が可能です。

● テーブルと接続端末の照合機能

受信機にテーブルデータをダウンロードする前に、受信機に接続されている端末とダウンロードしようとしているテーブルデータを比較することで、効率的に施工を行うことができます。

● テーブルアップロード機能

受信機内の件名テーブルアップロードをパソコンにアップロードすることができます。

● 音声警報機能

主音響は音声で、火災、ガス漏れ、トラブルの発生を分かりやすく伝えます。

● アイソレータ機能

[RX] アイソレータの 2 次側の感知器配線が短絡しても、影響は、その **[RX]** アイソレータで区切られた感知器配線に限定され、幹線及び他の **[RX]** アイソレータで保護された感知器配線に影響を及ぼしません。又、短絡は **[RX]** アイソレータごとに自動検出します。

■ 2. 諸機能(2)

● 感度補償機能

光学系の汚れに対して自動的にレベル補正を行うため、煙検出感度が常に一定に保たれます。又、汚れ警報機能も内蔵し、感度補償できないくらいの汚れが付着した場合、受信機が自動的にメンテナンスを要求します。

● 2線式多重伝送方式

エヌマスト（NMAST）多重伝送の採用により、幹線から感知器、中継器配線まで全て2線式で配線設計が容易です。

● グルーピング機能

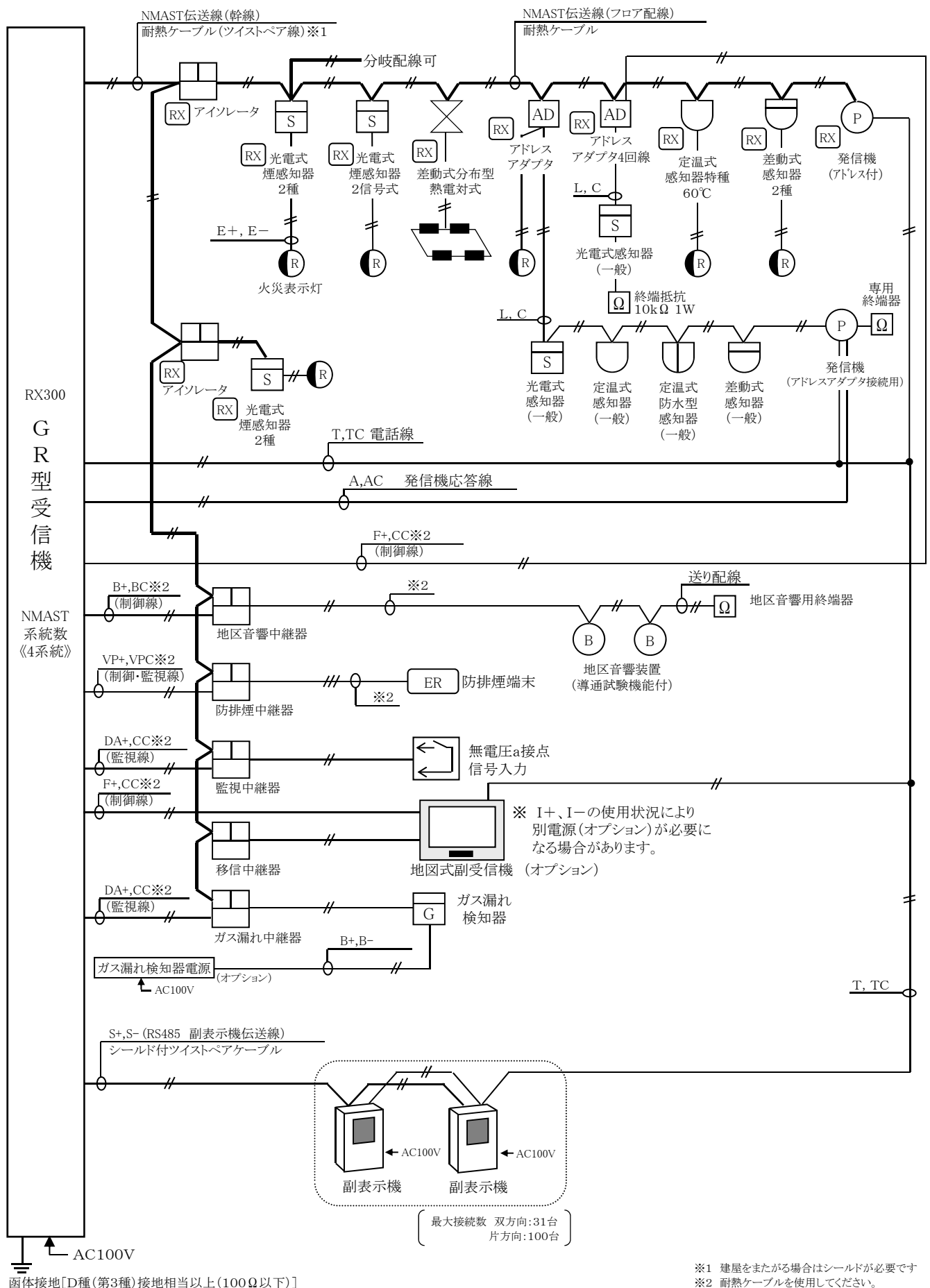
警戒区域に関係なく、**RX** 感知器や、**RX** 発信機の設定を自由にソフト設定できるため、感知器配線の設計・施工が容易です。また、将来の増・改築時の変更にも、簡単に対応できます。

● トラブルのマスク機能

感知器、回線、系統単位で機器故障時、一時的に端末の切り離しができます。

まだ施工していない部分のトラブルを表示させない（マスクする）ことにより、すでに施工した端末のトラブルをいち早く確認できます。

3. 基本構成図



■ 4. 仕様(1)

種 別	GR型受信機
品 番	NBS521AEA□□ (壁掛) NBS521BEA□□ (自立)
国家検定型式番号	受第22～11号
自主評定型式承認番号	AR-10-2
機 能	自動試験機能付 火災断定機能付 音声警報機能付 漢字プリンタ内蔵 カラー液晶表示 (ユニバーサルデザインフォント) 火災／警報／試験履歴機能付 履歴データのエクスポート機能付 テーブルデータのアップロード機能付 (受信機→PC) テーブルデータ (PC上) と接続端末の照合機能 同一系統への感知器・中継器の混在が可能 AI判断機能付 (RX煙感知器接続時) 感度補償機能付 (RX煙感知器接続時) 設置環境学習機能付 (RX煙感知器接続時) 煙・熱複合判断機能付 (熱検知機能付煙感知器接続時) あぶり点検時発報時間短縮機能付 (RX感知器接続時)
常用電源	AC100V 50/60Hz (P1-P2) 消費電力 警戒時最大消費電力 110VA 警報時最大消費電力 320VA
予備電源	DC24V 10,000mAh (品番: H0010) 受託評価適合品 ニッケルカドミウム蓄電池 (充電方式: トリクル充電 充電電流: 185mA)

■ 4. 仕様(2)

シ ス テ ム 容 量	NMA S T 伝送線 系統数	4 系統 (感知器、発信機、中継器接続用)
	NMA S T 伝送線 接続数	最大 1, 0 2 0 アドレス (最大 2 5 5 アドレス / 1 系統) (1 系統目の 2 5 5 A D は内部ユニットで消費します。)
	R S 4 8 5 伝送線 系統数	1 系統 (副表示機接続用)
	R S 4 8 5 伝送線 接続数	副表示機 : 最大 3 1 台
	RX 感知器、発信機、中継器 接続個数 (1 系統あたり)	A : アドレス感知器、発信機 : 2 5 5 個 / 1 系統 B : アドレスアダプタ : 2 0 0 個 / 1 系統 C : アドレスアダプタ 4 回線 : 5 0 個 / 1 系統 D : アドレス熱電対検出器 : 1 2 0 個 / 1 系統 E : アイソレータ : 2 0 個 / 1 系統 F : 中継器 : 5 0 個 / 1 系統 G : 旧中継器 (分散型) : 1 0 0 個 / 1 系統 H : 地図式表示ユニット : 2 5 個 / 1 系統 上記が混在する時は次の式を満足すること。(電源容量による制限) $0.3A + B + 4C + 1.6D + 1.5E + 4F + 2G + 8H \leq 200$ 個 / 1 系統
	アドレスアダプタ 2 次側の 一般感知器接続個数	I : 一般熱感知器 (電子式) (NCH535EXA 接続) : 3 0 個 / 1 回線 J : 一般熱感知器 (電子式) (NCH557EX 接続) : 8 0 個 / 1 回線 K : 一般煙感知器 (共通) : 2 0 個 / 1 回線 L : 一般光電分離型感知器 (共通) : 1 個 / 1 回線 M : 一般熱電対検出器 (共通) : 7 個 / 1 回線 N : 一般炎感知器 (NCH535EXA 接続) : 2 個 / 1 回線 P : 一般炎感知器 (NCH557EX 接続) : 4 個 / 1 回線 接点式の一般熱感知器については無制限 一般発信機については無制限 上記が混在する時は次の式を満足すること。 $I + 1.5K + 30L + 4.2M + 15N \leq 30$ 個 / 1 回線 (NCH535EXA 接続) $J + 4K + 80L + 11.4M + 20P \leq 80$ 個 / 1 回線 (NCH557EX 接続) 一般光電分離型感知器接続時は他感知器の混在不可
配 線 仕 様	伝送 1 系統あたりの一般感知器の 接続個数	$I + J + 4K + 100L + 16M + 13.33(N + P) \leq 2000$ 個 / 1 系統 (共通)
	NMA S T 伝送線 (※ 1) (※ 2) (感知器、発信機、中継器接続用)	最遠配線長 : 1, 5 0 0 m 総配線長 : 2, 0 0 0 m 適合電線 : 幹線 → 耐熱ケーブル (ツイストペア線) フロア配線 → 耐熱ケーブル 線径 → 配線抵抗 2 0 Ω 以下となる線径
	R S 4 8 5 伝送線 (副表示機接続用)	最遠配線長 : 5 0 0 m 総配線長 : 1, 5 0 0 m (3 分岐まで) 適合電線 : 耐熱ケーブル (シールド付ツイストペア線) 線径 φ 0. 9 以上

■4. 仕様(3)

その他定格

■ 4. 仕様(4)

その他 定 格	地区音響用	DC 24V 1, 200mA (B+ - BC) ・地区音響中継器(自動試験機能付)を使用する場合は地区音響80個まで (※8)(※9) ・地区音響中継器(断線監視機能なし)を使用する場合は地区音響120個まで (※8)
	防排煙制御用	DC 24V 2A (VP+ - VPC)
	監視用	DC 24V 400mA (DA+ - CC) (※10)(※11)
	汎用	DC 24V 600mA (F+ - CC) アドレスアダプタ4回線用 25個まで (※8)(※12)
	ガス漏れ表示灯用	DC 24V 500mA (GS+ - GC)
	表示灯用	AC 24V 420mA (U1 - U2)
	プリンタ	サーマルドット方式 24×24ドット/1文字 漢字16文字/行(JIS第2水準) プリンタ用紙: 感熱、用紙幅58mm(品番: V9294)
	電話	ジャック方式 電話機2台同梱
	テーブル作成ツール(PC) とのインターフェース	USB
	使用周囲温度	0℃～+40℃
注 記	※1 NMAST伝送線と以下の配線は別シースとしてください。 ・電話線 ・アドレスアダプタ2次側配線 ・地区音響配線 ※2 建屋をまたがる場合は、シールドが必要です。 ※3 一斉点灯(ランプチェック等)を行う場合は別電源(オプション対応)が必要になります。 また、常時点灯には対応していません。 その他の地図式サイズ、回線数はオプション対応です。 ※4 機器作動音響、蓄積開始音響については「鳴動する/しない」の設定変更が可能です。 ※5 これらの代表移信は、移信停止スイッチをONにしても出力OFFとなりません。 移信停止スイッチ操作により出力OFFとさせたい場合は、以下としてください。 ・代表増設端子または移信中継器を「移信停止代表」に設定して、この端子(b接点)を経由させて配線する。 ・代表増設端子または個別移信端子(EA1～EA5)または移信中継器に対して、必要な代表移信を設定する。 ※6 代表増設移信については移信条件の設定変更が可能です。(初期設定: 火災代表移信) ※7 消火栓連動システムが異なる一般発信機を同じアドレスアダプタに混在させることはできません。 (アドレスアダプタ2次側の一般発信機から消火栓連動させる場合) ※8 接続個数が制限個数を超える場合は、別電源(オプション対応)から供給してください。 ※9 地区音響中継器(自動試験機能付)の接続個数が55個を超える場合は、地区音響制御線を別電源(オプション対応)から供給してください。 ※10 ガス漏れ中継器の接続個数が85個を超える場合は、別電源(オプション対応)から供給してください。 ※11 監視中継器または直接入力またはb接点入力を使用する回線が20回線を超える場合、該当の監視中継器の監視電源を別電源(オプション対応)から供給してください。 ※12 アドレスアダプタ4回線用以外の用途で使用する場合において次の式を満足しない場合は、汎用電源を別電源(オプション対応)から供給してください。 $13.9 \times \textcircled{1} + \textcircled{2} \leq 350$ ①: アドレスアダプタ4回線用の接続個数 ②: 別用途の使用電流(火災表示灯も別用途の使用電流に該当します)	